

解散に伴う対応など有意義な討議、最後の宿泊・懇親会で賑やかに南北交流

◆4/18(金)～19(土) ◆守谷・いこいの郷 常総 ◆参加 15 名 (懇親会 12 名) 支部長 西郷治男

平成 16 年発足の茨城支部は 21 年間の活動を経て今年で解散することとなり、今回が最後の支部総会です。当初は昨年の 17 名を上回る予定でしたが、直前で本人の体調変化や家族の健康不安などで欠席が増加し、総会参加者は 15 名(県南10名、県北5名)、懇親会及び宿泊は 12 名で行われました。

13:40 開会で議事進行(県北)鈴木さん、冒頭に物故者 6 名に黙祷後、支部長挨拶はこれ迄の歩みと解散に至った経緯、今後の考え方が示されました。次に井上副支部長より活動報告が行われ、会員退会報告では死亡 6 名(下記)、一身上の都合 1 名で、期末=期首会員数は 47 名(南 28、北 19)と大きく減少。

＜物故者＞(県南)横内隆昌、麦嶋美郎、広瀬喬久、吉川尚文、(県北)田井俊夫、中山周治(敬称略)

続いて決算報告に移り、青木会計から一般会計、西郷支部長から特別会計の別途積立金(慶弔金)の支出と残高が報告、続いて鈴木監事より会計監査報告が行われ、報告事項は全て承認されました。

議案は支部解散に伴う今後の活動の考え方、一般会計と別途積立金の剰余金処分の考え方について支部長より詳細な説明が行われた後、有意義な意見交換や討議を経て議案は全て承認されました。

最後に参加者近況報告が(県南)佐藤さん進行で行われ、17 時前終了。(全会員近況:議案書添付)

17 時 30 分から南北一体となった久しぶりの懇親会で、2 代目支部長・古矢さんの挨拶と乾杯の音頭で開宴。恒例のハーモニカ演奏は古矢さん、宮本さんが素晴らしい音色と息の合ったハーモニーを披露。会場のあちこちで賑やかな歓談で大いに盛り上がった後、3 代目支部長・高田さんの挨拶と三本締めでお開き。その後は各自入浴を済ませて部屋に集まり、2 次会が夜遅くまで続きました。

翌 19 日は朝食後、またいつか県南・県北の再会を誓って皆さん元気に解散しました。

総会後は剰余金処分に伴う全会員への記念品、長寿祝金(未受給者へJCB商品券返金)、議案書及び議事録(茨城支部ニュース)を一括発送業務をすべて終えたことを確認し、5/10 支部解散となりました。



(後左から)野口藤高、矢吹静男、西津義弘、堀井信治、佐藤 武、鈴木武雄、池田克登志

(前左から)宮本久雄、熊谷 盛、高田紀平、古矢 昇、西郷治男、井上純一、石上 明、青木正彰(敬称略)